



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ (28年8月号)

平成28年8月1日

梅雨が開けて連日のカンカン日照り。よさこいの季節も間近です。

さて、8月は共同活動がお休みですが、水遣り（ご奉仕くださる奇特な方あり）、雑草引きはやすやすとサボれません。気の向くまま、熱中症に気をつけてポチポチやりましょうか。

9月は25日（日）に再開、10月は23日（日）を予定しています。

7月のトピックス

○7月10日（日）：幸い雨が降らず、いつものとおり電停脇「みんなの庭」で草取り。一面に茂っていましたが、5人で頑張っただうやら時間内にキレイになりました（写真）。ヤレヤレです。

午後、帯屋町でのチラシ配りとギター演奏もたっぷり1時間。「エライ上手やけどどこの方ですか？」とのお問い合わせがございました。



○7月21日（木）：東京赤坂で催された同窓有志の月例昼食会（サロン）で、幹事さんから「森の中の高知駅」の話をしてほしいとの依頼があり、PRチラシなど配ってホームページも紹介いたしました。20人近く集まった在京県人が熱心に聴いてくださり、「詳しく教えてほしい」と申し出てくださるかたも現れるなどよいPRになりました。

ホームページもご覧ください。↓

<http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

駅前緑化活動は篤志家のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗提供、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata@ak.wakwak.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」名義 普通 0709695

ロマンです。桂浜がいま再び熱い

私の手元に「桂浜を守り育てる会（桂浜水族館応援団）」関係者からいただいた会報「桂浜たより」創刊号（2016年6月発行）があります。

それによると、昨年10月に発足した（略称）「守り育てる会」（会長＝桂浜水族館長永国雅彦氏）は、豊かな歴史・文化遺産に恵まれた桂浜・浦戸地区の資源を守り、ゆくゆくは滞在型観光地に育てていくことを目指しているよし。

このあたりは渚・海辺の佳景と、神功皇后（玉島の名付け親）から坂本龍馬に至る数々の歴史ロマンに恵まれ、観光資源の宝庫です。陸の玄関を拠点にする北の「森の中の高知駅」と向き合う形で、南の海の玄関に素晴らしいまちづくりプロジェクトが生まれたことをたいへん嬉しく思います。



「守り育てる会」連絡先
電話 088-841-2437
FAX 088-841-2451

「緑のまちづくり」を考える

（1）なぜ人が訪ねてくるのか

— 四国八十八か所が教えてくれるもの

長年にわたって多くの人々を「四国八十八か所」のお遍路に誘ったのは、弘法大師（信仰と歴史）、お接待（人情厚い風土）、美しい四国の風景だといわれます。更にもうひとつ、ご朱印をいただきながら八十八か所を巡る「旅」の魅力です。まちづくりの専門家はこの「回遊性」に注目しています。



共通性が見られるものとして、小は「栗林公園」、「岡山後楽園」のような回遊式庭園から、大は「近江八景」、「金沢八景」など、そして「日本百名山」、「日本百名城」といった広域のものも人気です。八十八か所と同じく、個性のある一つ一つの場所が人々を魅了するとともに、繋がってネットワークとなり、いっそう強く存在を訴えます。こういったものは外国では珍しいようで、日本人好みです。



近江八景（安藤広重）

戦後風化してしまいましたが高知市には「吸江（浦戸）八景」がありました。今回ご紹介した「桂浜を守り育てる会」の運動が、八十八か所を凝縮したような「桂浜・浦戸八景」（巡り）の再現に発展すればいいな…と夢見ております。